

特別優秀賞

ナンバーをこえて

徳島県 城ノ内中等教育学校 二年
大野 真奈

『徳島県内在住者です』

このステッカーを、みなさんは見たことがありますか。徳島で、県外ナンバーの車にたまに貼ってあるステッカーです。

なぜ、こんなステッカーが存在するのでしょうか。

以前、徳島で県外ナンバーの車が、石を投げられるなどのいやがらせを受ける事件がありました。おそらくそれが、このステッカーができた原因だと私は思うのです。

こういうの、ちょっと悲しくなりませんか。このステッカーを貼らないと徳島では受け入れてもらえない、そう思われているようで、残念です。

たしかに、コロナを恐れ、寄せつけまいとする気持ちはわかります。私も同じです。しかし、それを人に向けなくともよいと思うのです。誰のせいでもないからです。

「ねえ、ママ。あのくるま、とくしまじゃないよ。わるいひとだね。」

突然の大きな声に驚きました。私は今、あるショッピングセンターの駐車場にいます。大きな声を出したのは、小さな男の子で、そばには母親と思われる人がいます。私は正直なところ、県外ナンバーの車を見ると、いつも（いやだなあ）と思っていました。そう思うときの私の心はいつも、もくもくと黒い雲がわいてくるようでした。するとその子の母親は、本心からか、急いでいたからか、「そうだね。」と返事をしました。と、そのときです。

「ボク、それはちがうよ。たしかに外出は控えた方がいいけれど、あの車の人もしかたなく来ているかもしれないでしょ。そういうことを言うのは『誹謗中傷』になるから気をつけて。それから、ナンバープレートじゃなくて、その人自身のことを見てあげるといいと思うよ。」

優しそうなおばあさんですが、小さな子ども相手に「誹謗中傷」だなんて、ずいぶん難しい言い方をするんだなあとは私に思いました。でも、なんだかその言葉は、自分に向かって放たれているようでドキリとしました。

よくよく考えてみれば、ナンバープレートだけで人を差別するなんて変な話です。私は少し反省しました。

通りすがりのおばあさんのあの言葉を聞いて、今の私の心はすみきった青空です。そして私は、この「親切」に触れて、これからどうしていけばいいのか考えてみました。

やはり、このコロナ禍を乗り越えるには、地球に住む人みんなで力を合わせなくてはなりません。地球なんて、宇宙から見ればとてもとても小さいものです。その中にあるもっと小さい日本で、さらに小さいナンバープレートのことによって差別し合うなんて、とんでもないことです。

これからはナンバーを、国を越えて協力し、いつか『地球在住者です』というステッカーができたらいいなと思いました。